

学位論文の審査基準・評価方法

1. 審査基準

<修士課程>

心理科学研究科臨床心理学専攻修士課程の学位授与方針が定める、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として自律できる者と認められるに相当する内容および水準であることに加えて、北海道医療大学学位規程、同大学院心理科学研究科学学位規程施行細則に基づいた手続きを経て提出された学位論文（修士論文）に対して、以下の

(1) ～ (10) の基準に則して審査を行う。

- (1) 問題意識、研究目的及び研究テーマが明確である。
- (2) 研究テーマに関連する国内・国外の先行研究のレビューが適切に行われている。
- (3) 研究目的、研究テーマに沿って妥当な研究方法が採用されている。
- (4) 修士論文として適切かつ十分なデータが収集されている。
- (5) 研究方法で示されている分析が適切になされ、結果として提示されている。
- (6) 結果に基づき、必要かつ十分な文献を引用し、適切な考察がなされている。
- (7) 論文は首尾一貫した論理構成になっている。
- (8) 論文の記述が十分かつ適切であり、規程の様式に沿っている。
- (9) 論文の内容は独創性を有し、当該研究分野の発展に寄与するものである。
- (10) 研究の実施、結果の公開において倫理的な配慮がなされている。

<博士課程>

心理科学研究科臨床心理学専攻博士課程の学位授与方針が定める、臨床現場、教育・研究領域において必要な指導的能力と研究能力を修得し、人の尊厳を重んじて、社会に貢献できると認められるに相当する内容および水準であることに加えて、北海道医療大学学位規程、同大学院心理科学研究科学学位規程施行細則に基づいた手続きを経て提出された学位

論文（博士論文）に対して、以下の（１）～（１１）の基準に則して審査を行う。なお、博士論文の提出にあたっては、申請者を筆頭著者とした査読付き学術雑誌に掲載、もしくは掲載が確定した論文を、博士論文を構成する一部を成す基礎論文として１本以上有していることが求められる。

- （１）問題意識、研究目的及び研究テーマが明確である。
- （２）研究テーマに関連する国内・国外の先行研究のレビューが適切に行われている。
- （３）研究目的、研究テーマに沿って妥当な研究方法が採用されている。
- （４）博士論文として適切かつ十分なデータが収集されている。
- （５）研究方法で示されている分析が適切になされ、結果として提示されている。
- （６）結果に基づき、必要かつ十分な文献を引用し、適切な考察がなされている。
- （７）論文は首尾一貫した論理構成になっている。
- （８）論文の記述が十分かつ適切であり、規程の様式に沿っている。
- （９）論文の内容は独創性を有し、当該研究分野の発展に寄与するものである。
- （１０）研究の実施、結果の公開において倫理的な配慮がなされている。
- （１１）提出された基礎論文は十分な学術的価値を有し、博士論文との整合性も高い。

2. 評価方法

- （１）評価基準を基に以下の４段階で評価する。
 - A：優れた論文である。(Excellent)
 - B：おおむね良好な論文である。(Good)
 - C：博士論文又は修士論文として認定しうる。(Fair)
 - D：博士論文又は修士論文としての水準に達していない。(Poor)
- （２）主査（１名）、副査（２名以上）が別々に評価を行い、審査委員会にて審議する。
- （３）主査は審査委員会の審議を踏まえて「学位論文審査並びに最終試験結果報告書」を作成する。